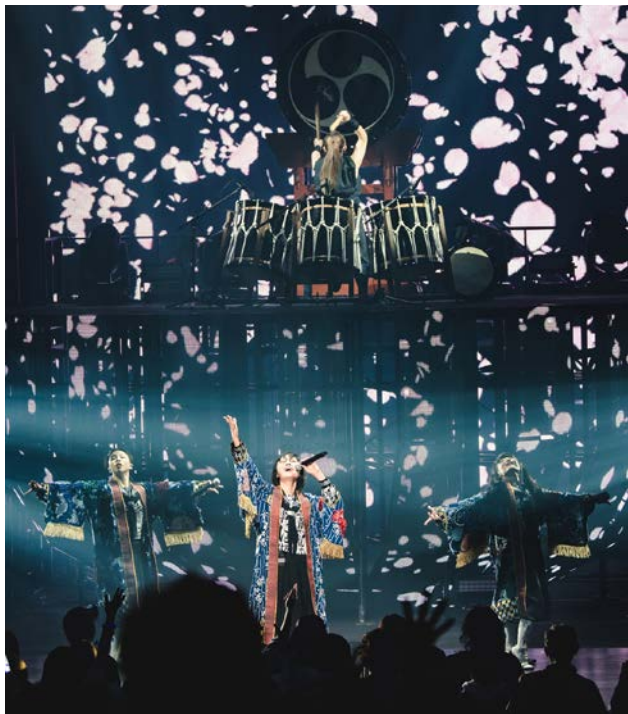
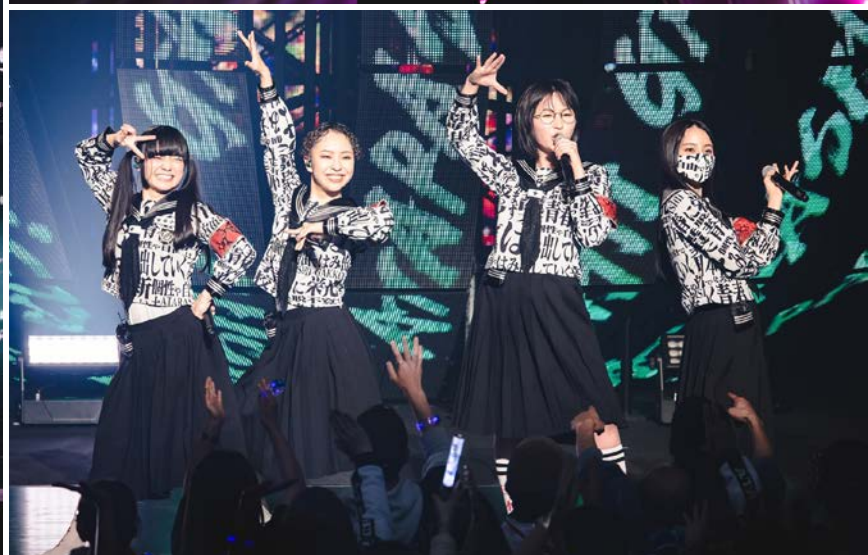


12 / 5 thu. 広島文化学園 HBG ホール

新しい学校のリーダーズ

日本凱旋！ 広島初ワンマン！
ATARASHII GAKKO! (AG!) が嵐を巻き起こす！

- SET LIST
01. Change
 02. Fly High
 03. Maji Yoroshiku
 04. Hero Show
 05. オトナブルー
 06. Arigato
 07. Forever Sisters
 08. CANDY
 09. Pinapple Kryptonite (Yohji Igarashi Remix)
 10. 最終人類 / 恋ゲバ REMIX
 11. Toryanse
 12. WOO! GO!
 13. Giri Giri
 14. Suki Lie
 15. Omakase
 16. Essa Hoisa
 17. Tokyo Calling
 18. NAINAINAI
- ENCORE
01. ケセラセラ
 02. 迷えば尊し



MIZYU、RIN、SUZUKA、KANONの自称“青春日本代表”が、全26都市のワールドツアーを終えての日本凱旋公演【NIPPON Calling Tour 2024】。しかも広島初ワンマンライブ！ 客席は、制服の学生グループや仕事帰り風カップル、子ども連れのファミリーなど、まさに老若男女で多様性全開。メンバー直々の注意事項アナウンスが流れた後に、重いビートが鳴り響き、両サイドのホーン隊が高らかに始まりを告げる。

中央の巨大提灯型セットが真ん中からゆっくり迫り上がると、中からステージに立つ4人の姿が出現。「広島〜！」SUZUKAのシャウトで『Change』から開幕。激しくタオルを回しながら、息のあったダンスで圧倒する。続く『Fly High』で炸裂するRINのラップが会場を揺らし、『Maji Yoroshiku』で、高速ファンキーチューンを乗りこなす！“ATARASHII GAKKO!”のコール&レスポンスから、マイケル・ジャクソンの“スリラー”的メロディに乗せて“愛の十字架”と連呼すると、赤いサイレンが回り、悪者がステージを占拠。正義の青春ヒーローとバトルを繰り広げる予測不能の展開。これぞAG!ワールド！

この日はKANONがマスクVer.で登場。続くMCにて、その理由が「先日の福岡公演でマイクが前歯を強打、顔面の下半身部分が爆発した」(SUZUKA)と明かされる。しかし、本人の強い希望で、「体調と演出を踏まえて、良い感じで間をとった出演」(KANON)になったとのこと。この柔軟な対応も、実にAG!らしい。『オトナブルー』の首振りダンスで完璧な一体感を生み出すと、『Arigato』では、SUZUKAがホウキギターを手に客席降臨。フロアに熱狂の渦を巻き起こす！濃密な映像と照明を背に、世界基準のサウンドと昭和

和歌謡を融合させる荒技を次々と披露。最新アルバム『AG! Calling』を中心としたドープな音世界で魅了する。過去に広島でイベントに出演した際、RINが舞台上で盛大に軋んだ話が暴露され、「広島は“尻餅の聖地”」(RIN)と命名するなど、ゆるいトークも交えつつ、結成10年の間で産まれてきた過去作品をリミックスしたクラブパートは、世界と戦ってきたAG!の底力を感じさせてくれた。

リアル和太鼓が打ち鳴らされ、ビジョンに桜吹雪が吹き荒れた『Omakase』や、纏を持ったダンサーと共演した『Essa Hoisa』では、マツリビートに狂喜乱舞。カリスマ的な魅力を放つ

『Tokyo Calling』で会場を支配すると、本編ラスト『NAINAINAI』では、再び客席に降り、肩車されるSUZUKA。ホールの最後方まで移動し、隅々までエネルギーを届ける姿に拍手が鳴り止まない。「青春とは、今を全力で楽しむこと…それぞれの“個性”や“好き”を一緒に見つけていこう！」とメッセージを投げ込み、アンコールラストはパンキッシュな『迷えば尊し』。全21曲をパワフルに踊り歌いあげ、エネルギーに“下校”した。メンバー負傷のピンチすら、新しいライブの可能性へと変換させたAG!。それは、更に4人が世界に“はみ出していく”のを確信した夜だった！🎵

